

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 12 日(2024.7.12)

【公開番号】特開 2023-28832(P2023-28832A)
【公開日】令和 5 年 3 月 3 日(2023.3.3)
【年通号数】公開公報(特許)2023-041
【出願番号】特願 2021-134761(P2021-134761)
【国際特許分類】

C 0 8 L 1/02(2006.01)
C 0 8 B 5/14(2006.01)
A 6 1 K 8/73(2006.01)
A 6 1 K 8/81(2006.01)
C 0 8 L 33/02(2006.01)

10

【F I】

C 0 8 L 1/02
C 0 8 B 5/14
A 6 1 K 8/73
A 6 1 K 8/81
C 0 8 L 33/02

20

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 7 月 4 日(2024.7.4)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

30

有機塩を含有する被対象物に加えて使用される組成物であり、
前記被対象物および / または前記組成物にアクリル酸系高分子が含有されており、
水酸基の一部がスルホ基で置換されたスルホン化微細セルロース繊維を含有している
ことを特徴とする C N F 含有組成物。

【請求項 2】

前記組成物が、前記アクリル酸系高分子を含有しており、
該アクリル酸系高分子が、直鎖状である
ことを特徴とする請求項 1 記載の C N F 含有組成物。

【請求項 3】

前記被対象物が、アクリル酸系高分子を含有したものであり、
該アクリル酸系高分子が、有機塩および / または無機塩の影響により粘性が低下した状態
のものを有している
ことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の C N F 含有組成物。

40

【請求項 4】

前記被対象物が、皮膚外用剤である
ことを特徴とする請求項 1、2 または 3 記載の C N F 含有組成物。

【請求項 5】

前記被対象物が、化粧品である
ことを特徴とする請求項 1、2、3 または 4 記載の C N F 含有組成物。

【請求項 6】

50

前記アクリル酸系高分子が、カルボマーである
ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の C N F 含有組成物。

【請求項 7】

前記有機塩が、アスコルビン酸誘導体またはアスコルビン酸誘導体塩である
ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の C N F 含有組成物。

10

20

30

40

50